

地域のお宝箇所

スクラムネット観光部会から

崇東山(すとうやま) ~大須戸~



大須戸中央橋から崇東山を望む

南北朝の戦いの中、暦応4年(西暦1341年)、出羽国・藤島(現鶴岡市)の南朝勢が、当時北朝勢であった越の国に攻め込み、府屋の大川城主・大川将長が対戦したが打ち破られ、大須戸まで退却した。南朝勢を食い止めるべく、北朝の指揮官・藤原公房(北朝から派遣された公家)は小泉庄(現村上市・岩船郡地域)をはじめ、阿賀北(現新発田以北)の武士たちに出兵を要請し、参集した北朝勢は、公房の指揮下で南朝勢と崇東山で戦い、ほどなく駆逐したと伝わる。

(原小須戸 渋谷直喜)



代議員の皆様方へ

『塩野町地域まちづくり協議会』定期総会の開催

まちづくり協議会も発足8年目となりました。懇親会も開催しますので、ぜひともご参加いただき、地域の皆様方と今後のまちづくりにご相談いただきますようお願いいたします。

■日時:4月13日(土)午後5時から

■会場:体験交流センター(まほろば温泉隣り)

※送迎バスを運行します。

編集後記

今年も色々なイベントがありました。役員はじめ様々な方々のご協力をいただき無事に終えたことに、はじめにお礼を言いたいと思います。今回の紙面でも、今年度に閉校になる地元・塩野町小学校行事等、地域の様々な面々を捉えました。今後も、地域のあり方を伝えて行ければと思います。

これからのまちづくりには後継者といった問題もある中、協力していただいた方に感謝をして、更なる情報の発信に努めて行ければと思います。(松岡・大滝友幸)



発行:塩野町地域まちづくり協議会
編集:ほっとニュースステーション
連絡先:朝日支所地域振興課自治振興室(事務局)
TEL 72-6881 FAX 72-0328
E-mail as.shinko-chiki@city.murakami.lg.jp
URL(ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp

地域の出来事については塩野町地域まちづくり協議会のHP(ホームページ)でも紹介しています。

塩野町地域まちづくり協議会 をクリック!



QRコードはこちら

Q&Aによるリレー人物紹介

まちづくりの輪

Vol.16



おおたき さちこ

大滝 幸子さん(荒沢)

Q①趣味は? → A①韓国ドラマや映画を見ることです。

Q②地区の魅力は? → A②この地区に来て今年で20年になりますが、子どもからお年寄りまで気さくで話しやすい地区だと思います。

Q③どんな地域になってほしい? → A③笑顔で明るく楽しい地域になってほしいです。

Q④そのためにどうしたら? → A④子どもからお年寄りまで楽しめる当てるゲームやパズルなど色々な楽しい行事などがあるといいなあ。住民が気軽に集うことの出来る場、コミュニケーションセンターなんかもあるといいですね。

Q⑤地域のおすすめスポットは? → A⑤大雪が降ったときの荒沢~小須戸間の県道をロータリー除雪車が除雪したあとは、奥只見には匹敵しませんが、見事な雪の壁が見られます。(去年の壁はものすごく高かった。)

Q⑥好きな郷土料理は? → A⑥荒沢の朝鮮漬です。胡瓜、ワラビ、大根、茗荷、ミズ、セロリ、イタドリ、人参、しその実、ニンニク、生姜、昆布、鷹の爪と、14種類も具材が入っています。私はしその実が多く入っているのが好きです。

Q⑦バトンを渡す次の人は? → A⑦友達の大須戸の中山樹雄さんを紹介します

地域外転出者へ通信を送付いたします。

地域外へ転出された塩野町地域内出身者で、ご希望の方に当通信を送付します。ご親戚・ご友人など送付のご用命の方は、協議会役員または事務局にご連絡をお願いいたします。



塩野町地域まちづくり協議会



第28号

今年も、子ども達が楽しみにしてやまない「塩野町小学校スノーフェスティバル」が2月8日(金)開催されました。

当日は「最強寒波到来」でしたが、雪の夜に思い切り遊ぶことが許されるこの日、白い雪原は、勢いよくそりで滑る子ども達の笑い声と、色とりどりのスキーウェアで明るく彩られていました。

まちづくり協議会では、今年が塩小として最後のスノーフェスティバルということもあり、「地域の宝である子どもたちを喜ばせたい」「閉校に際し、地域の人達にとって思い出深い事業を行いたい」という考えのもと、まちづくりコロケの振る舞い、記念写真が撮れる雪明りのフォトスポットの製作、そして、本格花火の打ち上げを行いました。



打ち上げ花火は、本小須戸の小田慶一さんをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

この地域ならではのイベントをはじめ、温かな

地域関連の行事

3月

- 22日 小学校卒業証書授与式
- 26日 保育園卒園式
- 31日 入学祭(早稲田)

4月

- 3日 大須戸能定期能
- 8日 中学校入学式
- 9日 小学校入学式
- 26日 朝日さくら小開校式

5月

- 5日 蒲葎神楽
- 7日 荒沢蔵王権現様参拝(荒沢)
- 25日 小学校運動会

6月

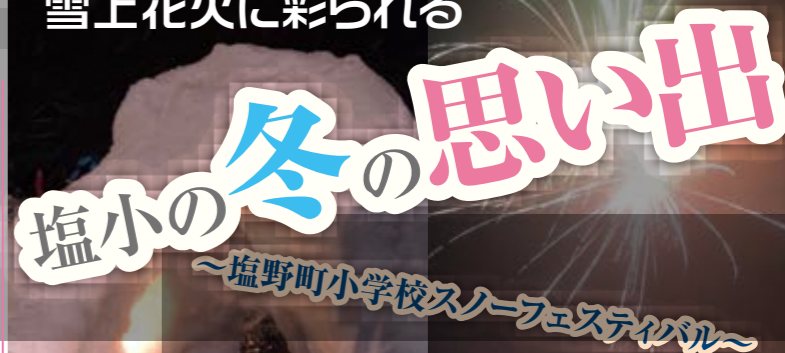
- 下旬 大須戸さくらぼ祭り

7月

- 14日 早稲田神楽(天王様)
- 15日 原小須戸・本小須戸神楽

※開催時間などは、各集落まちづくり役員にお問い合わせ願います。

雪上花火に彩られる



塩小の冬の思い出
~塩野町小学校スノーフェスティバル~

ふれあいにより「自分のふるさとはこれがある」と肯定的に誇れる経験をする事によって、子ども達の地域への愛着も深まり、ふるさとのことをずっと忘れないでいてくれるのではないのでしょうか。「絆」を作り続けること、これはまちづくり協議会でコツコツ続けて行きたいことの一つです。



グラウンドには、雪像に掘った穴に友達とぎゅうぎゅうになってもぐりこむ子や、まち協製作のフォトスポットで写真を撮る親子の姿があり、笑顔と歓声が響いていました。ここに地域の人の思い出が沢山詰まった学校があったこと、ふるさとの楽しい冬の思い出を、この光景とともに胸に抱き続けてほしいと思います。

まちづくり協議会では、閉校後、子ども達とどうつながってゆくか、また、地域ならではの学校行事を地域の行事として継続できないか、思案中です。人が集まってつながることが、安心できる住みよい地域づくりには必要です。ぜひこれからも、まち協の催しにご参加をお願いします。



2/23 (日) まちづくり講演会 塩野町地域の未来を予測して、今、出来ること!

～ちょっとした一手間・工夫が課題解決の糸口になる～



地域の未来を、実際に数字で見ながら、今から「困りごとを解決する仕組み」を作るための必要性とその方法について考える「まちづくり講演会」を開催しました。今、集落でやっていることに少し工夫するだけで困りごと解決になる、といった事例も紹介。効果が2倍になる、今すぐ役立つ「掛け算」のコツを学びました。

【講演要旨 (一部抜粋)】

- ・塩野町地域は、人口減少・少子高齢化による暮らしへの影響を徐々に実感しているが、まだ深刻な状況になる一歩手前。今地域を主に支えている年代は、いずれ「支えられる側」に。深刻化してからでは遅い！ 今すぐに将来への「備え」を始める必要がある。
- ・人口減少よりも「年代構成の変化」のほうが大きな問題であり、今の社会の仕組みはこれからの社会に合わなくなってくるので、われわれ住民も進化が必要。
- ・今までは行政、企業、自治会、個人などで手分けしてきたことも、人口の減少により、手が回らなくなっている。(特に個人領域、住宅敷地内の除雪、買い物、お墓の管理…など。)
- ・少子高齢化(多老化)がすすむ。住民自治の進化、高齢者には出来るだけ長く元気で活躍してもらうこと、少ない若者世代の意見は丁寧に聞くことなどが重要になる。
- ・事業を増やすのではなく、いかに「まとめて」やるかが重要となる。(運動会の際に「防災がテーマの種目」、農業で「介護予防事業」などついでの掛け算が大事。)
- ・世間話はとても重要。「しんどくなったこと=困りごと」など多くの情報を得ることができ、今やるべきことやニーズのヒントがある！ まずアイデアを小さく実験してみることが大事。



講師：齋藤主税氏
NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長

全国各地で、地域づくり事業に関するコーディネート活動を行う。講演・研修の講師も多数務める。

塩野町地域の人口	国勢調査				都岐沙羅PC独自推計		
	2,000年	2,005年	2,010年	2,015年	2,020年	2,025年	2,030年
総人口(人)	2,438	2,292	2,067	1,861	1,645	1,442	1,258
		-23.7%				-32.4%	
0~14歳(人)	364	320	234	167	124	109	89
		-54.1%				-46.9%	
15~64歳(人)	1,349	1,235	1,132	970	850	714	591
		-28.1%				-39.1%	
65歳~(人)	725	737	701	724	672	619	578
		-0.1%				-20.1%	
高齢化率	29.74%	32.16%	33.91%	38.90%	40.86%	42.92%	45.97%
(再掲) 65~74歳(人)	403	356	288	324	306	249	247
(再掲) 75歳~(人)	322	381	413	400	366	370	331
(再掲) 85歳~(人)	70	104	108	131	149	125	108

(参考) 85歳以上の4人1人が要介護3以上/要介護3以上の2人に1人が85歳以上(国勢調査結果より)

人口減少や世帯人口推移の数字には、会場がどよめいていました。参加者は熱心に耳を傾けており、講演終了後の意見交換では、「集落でも変化が必要だ」「今やっている行事はどうだろう?」などの声が聞かれています。力を合わせなければ、住みよい地域は作れません。学んだことを元に、「次の一手」に向かって、地域みんなで一緒に歩きながら、これからの未来を考えましょう。



「掛け算」事例：島根県雲南市 鍋山地区
水道検針業務×地域自主組織
→水道検針を地域自主組織が請け負うことにより、自主財源の確保と住民による高齢者見守り事業を同時に実施

「世間話」事例：島根県雲南市 中野地区
「包丁が切れなくなってきて料理がおっくうに」のつぶやきを聞き、地域の茶の間のついでに「切れない包丁を持ってきて」と呼びかけたところ…100本以上集まった!! 思わぬニーズが判明。

地域おこし協力隊・高橋直人の Shionomarch Vol.9

「協力隊通信 Shionomarch」はまちづくり通信にて連載でお届けしています!

皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の高橋直人です。今回が地域おこし協力隊としておそらく最後の執筆となります。

いよいよこの3月いっぱい地域おこし協力隊としての任期が終了となります。

思えば3年前にひよんなキッカケから地域おこし協力隊になり、誰も知り合いがいないこの塩野町地域にやってきました。

今はもう、そのあたりを歩けば知ってる顔が沢山あって。

はじめの不安な気持ちは不思議と今は安心感に変わって、地域全体が一つ家族というかそんなイメージで。

地域の良さってこういう事なんだなあって肌で感じています。

「この地域の良さはなんですか?」と聞かれたらパッと出てくるような、そんな簡単に説明できるモノではないのですが、歴史とか伝統とかそういうモノ



大須戸新春講演会にて講演

ノよりも「今を生きる人の温かさ」が日々感じられることが単純にすごく嬉しくて、卒業後もここで暮らそうと思ったのはそういうことなんだと思います。

これらを知ることができた地域おこし協力隊の3年間は、本当に貴重な時間になりました。

皆さんのおかげで無事に任期満了することができそうです。感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

さいめかみ・どんど焼き・いろいろ

蒲萄集落

1月14日の成人の日、スキー場ゲレンデで、スキー場とタイアップした集落の「どんど焼き」が行われました。餅まきや甘酒のふるまいも行われ、スキー場に訪れた家族連れの人も一緒に楽しみました。落ち着いた天候に恵まれ、炎を囲みながら餅やすめを焼いたりお神酒をいただいたりしました。

どんど焼きの中央には、上に松とゆずり葉を飾った長い竹があり、集落南側にある「お滝様」の方角に倒れると今年は豊作だと言われてます。みんなが見守る中、大きくなった炎に焼かれ、竹は始まって間もなく南側に倒れました。今年も豊作でよい年になりそうです。

(蒲萄・菅原 明)



早稲田集落

子どもの頃から小正月に行われてきた「才の神」。私の記憶では、『ほいほい』と呼ばれていました。火が入られ、燃えてくると「ほーいほいほいほい」と声を上げ、無病息災を願ったものです。そんな早稲田集落では、今も昔も、火入れ前に子ども達を楽しませるイベントとして雪の中にお菓子の詰め合わせを隠して、宝探しをしています。また、冷えた体を温める豚汁サービスもあります。

足が遠のいている方も来年はぜひ集落の才の神に足を運んでみてはいかがでしょうか。

(早稲田・相馬千恵子)

